

2021年12月15日  
第125号



# 国労九州

〒812-0013 福岡市博多  
多駅前3丁目9番3号  
エコービル1003  
092-483-1515  
発 責 千々岩隆  
編 責 水流 彰



# コロナを利用した効率化提案!

## 安全・サービスはようになる?

12月8日、来春のダイヤ修正・効率化の提案を受けました。内容は、直営全体で268名の効率化をするというものでした。また、委託駅33駅を無人駅にするとして、サービスサポートの社員の多数が雇用不安に陥ることになります。

営業の効率化の中には、博多駅のホーム要員廃止が出されていますが、この提案により九州の在来線ではホーム要員は全て無くなる予定です。説明するまでもなく、JR九州最大であり、列車本数・乗降人員数も最大です。多客期や異常時になればホームに人が溢れ、案内への支障がでたり、到着・出発時には危険な状況が出て、安全上、サービスの観点からも大変な問題となると考えます。

これまででも会社はBPRと称して聖域の無い経費削減を取り組んできました。産業雇用安定助成金がらみの出向は11月末で110人となり、職場から年休が取れないと要員不足が指摘されています。その中でこの効率化内容です。安全・安定輸送はどうなるのか懸念がでてくるのは当然です。

12月8日、来春のダイヤ修正・効率化の提案を受けました。内容は、直営全体で268名の効率化をするというものでした。また、委託駅33駅を無人駅にするとして、サービスサポートの社員の多数が雇用不安に陥ることになります。

これまで社員はコロナ禍でもエッセンシャルワーカーとして誇りをもって業務を行ってきました。コロナもオミクロン株の登場で先行きは不透明なところもありますが、現在は一定の落ち着きを見せて、利用者もかなり戻り収入も増えていきます。コロナが収束に向かう中、要員確保は必要はずなのに、コロナを利用した、こうした効率化については国労として反対です。

### <主な効率化内容>

- 営業関係 △72
  - ・ 運転取扱い業務の見直し (3 駅)
  - 博多駅ホーム要員廃止等
  - ・ 販売改札体制の見直し等 (19 駅)
  - 直営→委託化(4 駅)委託→無人化(33 駅)
- 運輸関係 △47
  - ・ 吉松運輸センター廃止
  - ・ 列車、動力車乗務員の運用見直し等
- 施設関係 △21
  - グループ会社への移管等
- 交番検査の業務移管 △11
  - 直方車両センター、南福岡車両区
- 各支社・鉄道事業部の廃止と効率化  
各支社合計 △117 総合計 △268

がん治療を幅広く  
まとめて保障するがん保険

NEW/  
アフラックの  
生きるためのがん保険  
ALL-in

**No.1** がん保険  
生存保障  
医療費補償  
※がん治療費の全額を保障するがん保険

「生きるためのがん保険Days! ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、がん治療後も幅広く必要となる保障です(所定の支払条件に該当する必要があります)。

■専業代理店(アフラックは代理店制度を採用していません)  
アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引当保険会社)  
「生きる」を創る。アフラック  
東京第二法人営業部  
東京駅前西新橋2-1-1 新橋三井ビル19F  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658  
#1447 AFP-00200009020019 2020